

- 1986年 横須賀市生まれ。本町育ち・根岸町在住。4人きょうだいの長子。祖父はドブ板通り「堀整形外科」院長。長岡保育園・汐入小学校・坂本中学校・県立横須賀高校(57期)卒。
- 2010年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科卒
- 同年 公益財団法人松下政経塾に入塾(31期生・横須賀市出身者は初)
- 2012年 アクセンチュア(株)にて企業のIT刷新・財務業務改革等に参画
- 2016年 自殺対策を推進するNPO

所属：根岸町3丁目町内会・大津観光協会・ドブ板通り商店街振興組合・本町青年会・公郷学区体育振興会・横須賀市消防団第3分団・横須賀剣道連盟・日本子ども虐待防止学会・NPO法人ファザーリングジャパン
趣味：剣道(三段)・クラシックピアノ・スポーツ吹矢・タップダンス

法人にて、深刻な悩みを抱えている人の相談・支援に従事

● 2018年 政治に挑戦するため、NPO法人を退職。「子育てしやすい街日本一」を目指し、現役

パパが横須賀を盛り上げる"PAPASUKA"(パパスカ)や子育て当事者団体を設立。

● 2019年 横須賀市議会議員、初当選
役職:教育福祉常任委員会委員、広報公聴会議委員



横須賀市議会議員 | 堀りょういち | 市政報告

HORI TIMES

ホリ・タイムズ



無所属・新人

子育てパパ33才



横須賀から東京2020へ

学生インターン募集中!

市議会議員の仕事を手近で体感してみませんか。詳細は「堀りょういち後援会」までお問合せください。

Support Hori | ご支援・応援をお願いします。ボランティアも募集中!

堀りょういち事務所

web | <http://horiryoichi.net>

tel | 080-4327-7787

fax | 046-874-4603

email | hori@horiryoichi.net

事務所 | 〒239-0807 横須賀市根岸町 3-15-7-1303



↑ 横須賀市議会選挙 最終日の様子

Hori's Political Report

11/3

オリンピック公式スカジャンで横須賀の歴史と魅力の発信へ!

オリンピックエンブレムが入った公式スカジャンが全国100着限定で発売されました。国内生産にこだわり職人が一つ一つ丁寧に刺繍をしています。公式グッズ認定を受けるには幾重ものハードルを越える必要があります。完成までには相当な月日をかけられたそうです。

スカジャンが誕生したのは太平洋戦争に敗れ、疲弊した終戦直後。食料も物資も乏し

い時代に、なんとか生き抜いていくために、考え、生まれたのが、スカジャンです。その意味で、スカジャンは戦後の日本人がたくましく生き抜いたことの証でもあります。

一昨年、ドブ板通り商店街振興組合は「スカジャン発祥の地宣言」を行いました。これを機にスカジャンの魅力を内外に発信し、横須賀の経済、観光をさらに盛り上げていければと思います!

Hori's Political Report

2019年11月～12月 議会総括

2019/11/20に臨時議会が、11/28～12/13に12月定例議会が開催されました。横須賀市議会では、3, 6, 9, 12月に定例議会が開催されますが、台風15号と19号の被害に早期に対応する必要があるということで、今年度は10月、11月と2回臨時議会が開催されています。災害対応等、緊急時に迅速に対応できる議会運営を議員一丸となって進めて参ります。

さて、12月の定例議会では、過去最多の16名の議員が一般質問を実施しました。堀りょういちちは人生二度目の挑戦となり、大きく4つのテーマについて、市側と熱い議論を展開しました。今回、市から提出された主な議案は以下の通りです。

●令和2年11月に開館を予定している、ルートミュージアム構想*の中核拠点である「(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンター」の建築工事に関して補正予算を計上

●令和2年5月に本市で開催を検討している「全日本BMXジャパンカップ」開催の誘致実現に向けた補正予算の計上

●令和7年度開院予定の新市立病院(現神明公園に建設予定)の早期着工に向けた、増額補正の計上 等

*横須賀の歴史を伝える中核拠点(ガイダンスセンター)を作り、市内各地の近代遺産を有機的につなぐことで、集客促進、観光客増を実現しようというのが、ルートミュージアム構想です。



Hori's Political Report 11/28

一般質問レポート①

ひきこもり対策が前進します

内閣府の調査で、ひきこもり状態の人が全国で推計110万人いるとされ、特に「8050問題」と言われる中高年のひきこもりは今後深刻化するとされます。堀はまずは相談窓口の明確化と周知の徹底を訴えました。さらに、アウトリーチ(訪問型の支援)の導入、切れ目のない支援、居場所支援の必要性等を訴えました。ひきこもりは個人の問題というよりも、その多くが社会的な要因によるものです。誰もが暮らしやすく、生きがいを感ぜられる街を訴え続けます。

一般質問レポート②

スカジャンで横須賀の魅力発信

スカジャンは、第二次世界大戦後、横須賀米軍基地で日本駐留のアメリカ軍兵士達が、帰国時の記念、お土産として日本をイメージする柄を刺繍したのが始まりと言われています。今日ではファッション誌等でスカジャンが取り上げられることも増え、注目が集まっています。このような魅力的な地域資源をより活用すべきではないかと堀が訴え

たところ、市からはスカジャンの魅力を「広く強く発信する」「展示会など様々な手法を検討していきたい」と前向きな回答をいただきました。

一般質問レポート③

市の事業評価を刷新へ

市民の皆さんの税金で行われている市の事業。合計で2千～3千あると言われます。これらの事業を適切に評価するのは議会の重要な仕事です。それを行う決算審査において、市側からわかりやすく、かつ適切な内容の情報開示がなされていないと感じました。これでは、議会側で十分な審査はできず、深刻な問題です。市は堀の訴えに対して、事業評価について根本的な見直しを進めると約束してくれました。今後の動きを厳しく見ていきます。

一般質問レポート④

LINE等を使って、必要な人に支援が届く仕組みを

これまでの行政サービスは、市民が申請するまで動かない「待ち」が基本でした。しかし、これからは支援を求める人を行政が見つけて、サービスを「届けて」いくことが求められます。そこで、今日の様々な技術の積極的活用を堀は訴えました。市は市民の身近なツールとしてLINEアプリの活用の検討を開始。市全体でICT活用を強力に進めるために、来年度以降、体制も刷新することになりました。

ホーリーの休日 | コラム

消防団員としてゲートキーパー研修に参加しました。ゲートキーパーとは、心の不調や自殺に傾くサインに気づき、よりそい、支援につなげられる人のこと。横須賀市消防団では毎年の研修として実施しています。市では一般向けの研修会もありますので、皆さんにぜひ知っていただきたいです。



活動記録や政策をWeb・SNSで発信中!

定期的にライブ動画配信中

1テーマ5分で横須賀を語る

堀りょういち
Channel

f 堀りょういち後援会

@ryoichi_hori

@horitter_yksk



ブログ



LINE@

